

## 陸上自衛隊 一般曹候補生（普通科体育コース生徒）

私は陸上自衛隊一般曹候補生に合格し、この春から入隊することが決まりました。

私が陸上自衛隊を志望した理由は、いところが陸上自衛官で、その方から国を守る責任感や使命感などの話を中学生の時から聞いており、そのころから陸上自衛官への憧れを持っていたからです。また、一般企業よりも福利厚生が充実していて給料も安定しているので、自分の将来を考えて志望しました。

一般曹候補生の試験内容は、一次試験と二次試験があり、一次試験では、適性検査と必須科目で、国語・数学・英語・作文の4つがありました。二次試験では、面接と身体検査がありました。試験当日は、出発が朝6時30分と少し早かったのですが、自衛隊地方連絡協議会の方が送迎をしてくださり、安心して試験に臨むことができました。

私が、進路目標達成のために取り組んだことは、夏休みから自衛隊地方連絡協議会で行われる学習会に参加したことです。学習会では、現役の自衛官の方が過去問の指導をしてくださいました。面接の練習は一人一人丁寧にしてくださるのでとても心強かったです。

以上の中でも特に力を入れて取り組んだことは面接練習です。自衛隊の方にほぼ毎日面接の練習をしていただきました。その場でアドバイスをさせていただいて改善をし、何度も練習を繰り返しました。そのおかげで面接での不安が無くなり、自信ができました。必須科目の過去問を解く勉強では、先輩の自衛官の方が一カ月間リクルーターとしてこられて、勉強のことや自衛隊のことを詳しく教えてくださいました。また、学習会だけではなく、家で苦手な数学と英語を重点的に取り組み、分からないところは次の日に先生や友人に教えてもらうなど工夫をして勉強しました。勉強会に参加して自衛隊のことをより身近に感じることができ、参加してよかったなと感じました。

最後に皆さんに伝えたいことが二つあります。一つ目は、就職試験に向けて計画的に取り組むことです。私はバドミントン部に所属していて練習や試合などがあり、夏休みの後半からのスタートとなりました。周りの人たちより取り組みが遅れ、焦ってしまったので計画的にすればよかったなと後悔をしました。だから皆さんは早めに計画をして取り組んでほしいと思います。部活動をしていない人もですが、特に部活動をしている人は忙しくなってからでは遅いので、早めに取り組んだほうが良いと思います。

二つ目は、どんなに困難なことでも諦めずに努力をすることの大切さです。私は高校3年間の部活動をとおして何事にも諦めずに努力をしました。その努

力が報われたかどうかは分かりませんが、なんでも諦めずに努力してやり抜くことで自然と自信ができました。そして人として成長することができました。このことから、「報われない努力はない」ということを皆さんにぜひ伝えたいです。その努力が直接的に結果に繋がるとは限りませんが、諦めずに努力をすることでいつかきっと別の結果に繋がっていきます。だから、このことを胸に皆さんも進路目標達成に向けて諦めないで頑張ってください。